

## 授業科目

## 臨床血液学実習II

|                      |      |    |       |    |
|----------------------|------|----|-------|----|
| 担当教員名<br>大山 富三、長野 茂雄 | 対象学年 | 3  | 対象学科  | 臨床 |
|                      | 開講時期 | 後期 | 必修・選択 | 必修 |
|                      | 単位数  | 1  | 時間数   | 45 |

## ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎     | ○     |       | ○  | ○     |

## 授業の概要

自動化が進んでいる血液検査ではあるが、用手法による凝固止血検査の実習を通してその原理と測定技術を修得し、得られた結果から臨床的意義とともに血液疾患を推測できる知識を学びます。

## 授業の目的

1. 用手法による凝固止血に関する実習を通して、検査法の測定原理やその臨床的意義を理解し、得られた結果から血液疾患を類推できる知識と技術を習得する。
2. 臨床検査技師国家試験に合格するために血液検査学の知識を身につける。
3. 将来臨床検査技師として血液検査学に従事した際の血液検査法の基礎技術と基礎知識を修得する。

## 学習目標

1. 安全かつ正しく採血を行う。
2. 用手法から基本技術をマスターする。
3. 結果を正しく評価する。
4. 各種検査の理論及び臨床的意義を説明する。
5. 検査の基準値を列挙する。
6. 検査結果から疾患を類推する。
7. 採血の実習を通して患者様の痛みを理解する。

## 授業計画

| 回数    | 授業計画・学習の主題          | 学習方法・学習課題・備考 | 担当教員        |
|-------|---------------------|--------------|-------------|
| 1-2   | 血液凝固時間測定            | 講義・実習        | 大山 富三 長野 茂雄 |
| 3-6   | カルシウム再加時間測定         | 講義・実習        | 大山 富三 長野 茂雄 |
| 7-8   | A P T T測定           | 講義・実習        | 大山 富三 長野 茂雄 |
| 9-10  | P T測定               | 講義・実習        | 大山 富三 長野 茂雄 |
| 11-12 | 交差混合試験（クロスミキシングテスト） | 講義・実習        | 大山 富三 長野 茂雄 |
| 13-14 | ヘパラスチンテスト           | 講義・実習        | 大山 富三 長野 茂雄 |
| 15-16 | フィブリノゲン測定           | 講義・実習        | 大山 富三 長野 茂雄 |
| 17-18 | プラスミノゲン測定           | 講義・実習        | 大山 富三 長野 茂雄 |
| 19-20 | F D P測定             | 講義・実習        | 大山 富三 長野 茂雄 |
| 21-22 | 出血時間および毛細血管抵抗試験     | 講義・実習        | 大山 富三 長野 茂雄 |
| 23    | 血小板凝集能試験            | 講義・実習        | 大山 富三 長野 茂雄 |

## 使用図書

| 使用図書   | 書名                | 著者名     | 発行所   | 発行年   | 価格       | その他 |
|--------|-------------------|---------|-------|-------|----------|-----|
| 教科書    | 臨床検査学講座 血液検査学 第3版 | 奈良 信雄 他 | 医歯薬出版 | 2013年 | 5,400円+税 |     |
| 参考書    |                   |         |       |       |          |     |
| その他の資料 | 配布資料              |         |       |       |          |     |

## 評価方法

実習外で実施する筆記試験を70%程度、レポートを30%程度として評価する。  
ただし、筆記試験の点数が6割未満の場合は再試験対象とする。

## 履修上の留意点

上記「授業計画」の項目が変更になる場合もあるので、予め承知しておいて欲しい。  
臨床技術者にとって重要な臨床科目であるため、知識は勿論のこと技能についても習熟すること。なお、レポートは全て提出することで評価対象となる。

## オフィスアワー・連絡先

授業に関する質問がある場合には、希望する曜日・時限をtomizo-oyama@nuhw.ac.jpまで連絡してください。その後日程を調整したうえでN棟2階202合同研究室まで来てください。